

テレワーク生活も長くなってきました。

仕事上、それほど問題はないのですが、運動不足になってしまい、散歩をすることにしました。地元をうろうろ歩き回っていたら、町がかなり変わっていることに気が付きました。

もともと蕎麦屋は多いと思っていましたが、パン屋がかなり増えているのでちょっと驚きました。また、自宅から15分くらいの場所になかなか美味しい焼き菓子売っている店をみつけて、調べてみたらもう4年ほど前にオープンしていた店でした。

地元でも用事がなければあまりいかない場所というものはあるもので、まったく気が付きませんでした。ネットで調べてみたところ、かなり好評で遠くからきている人もいました。「地元の人がうらやましい」という投稿をみて、情報不足のため地元のアドバンテージを生かせていなかった私は複雑な気持ちになりました。

感染症拡大のため、2年以上、旅行にいていません。できないことはかえってやってみたくないのでどこかに行きたくて仕方なくなっていました。

しかし考えてみたら、別の土地に行けないということは、別の土地からここに来ることができないということで、東京観光をしたいと思う海外や国内の人からみたら恵まれているともいえます。ならば地元を観光する旅行者になったつもりで情報を集めて、地元を散策するというのもいいかもしれません。

地元の観光名所を回って、地元のグルメを堪能して地元旅行を試してみようかと思っています。(M.K)

私は街中を歩いている時に、ふと頭上を見上げて道路を走る電線を眺めるのが好きです。CCHにくるまれた電線が緩い弧を描いていたりすると嬉しくなります。

ところが、先日SNSで何気なく人の書き込みを読んでいたら、なんと「電線鑑賞」なる言葉に出会い、驚きました。よく読んでみると、私と同じで単に電線を眺めるのが好きとのこと。仲間がいたことに嬉しくなる一方、世の中にはいろいろな人がいるものだと感心しました。しかも若い女性の間で人気があるようです。

「電線鑑賞」でググってみると、自称「電線愛好家」の文筆家の女性が、好きが高じてオリジナルDVD『電線礼讃』をプロデュースしていました。紹介するWebサイトには、電線を主役にカッコよく切り取られた風景がいくつも並び、自分も撮影したくなってきました。また、某区立美術館では有名な画家の絵画の中から風景に電線が描き込まれた絵画だけを集めた「電線絵画展 小林清親から山口晃まで」と題した展覧会まで開催されている始末。この絵画展は昨年の開催だったため残念ながら観られませんが、事程左様に世の中電線ブームだったりするようです。

電線の何が人々の心を揺り動かすのでしょうか。ツタの絡まる電線・電柱に植物の強さと電線の丈夫さを見る。空中で丸められた電線の余長が幾何学模様のように美しい。などなど、日常のふとした風景の中に、癒しを求めているのだらうかと思ったりする今日この頃です。(Y.H)

こんな時が危ない!

- 工事繁忙期よりも、終期、特に撤収作業時
- 非常に危険と思われる作業よりも、それほど危険と思われない作業時
- 同一作業が長く続くよりも、1日~2日とか半日、あるいはもっと短時間で終わる作業時
- わかりきった常識的な作業手順を守らない時
- 作業時に積極的な人が、指示以外の作業をした時
- 安全設備を取りつける段取りに取りかかる前
- 教育を十分うけているはずの職長や工事監督がルール無視の行動をした時
- 立入り禁止箇所、危険箇所を承知していて、そこへ行った時

Raisers第70巻第2号(通巻第753号) 2022年3月10日発行

■編集 一般社団法人情報通信エンジニアリング協会 〒150-0033 東京都渋谷区猿楽町3-3

Tel. (03) 3464-3211(代) Fax. (03) 3464-3216

■発行所 一般社団法人電気通信協会 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-1-1 如水ビルディング6階

Tel. (03) 3288-0608 Fax (03) 3288-0615

(本誌掲載記事の無断転載を禁じます。)